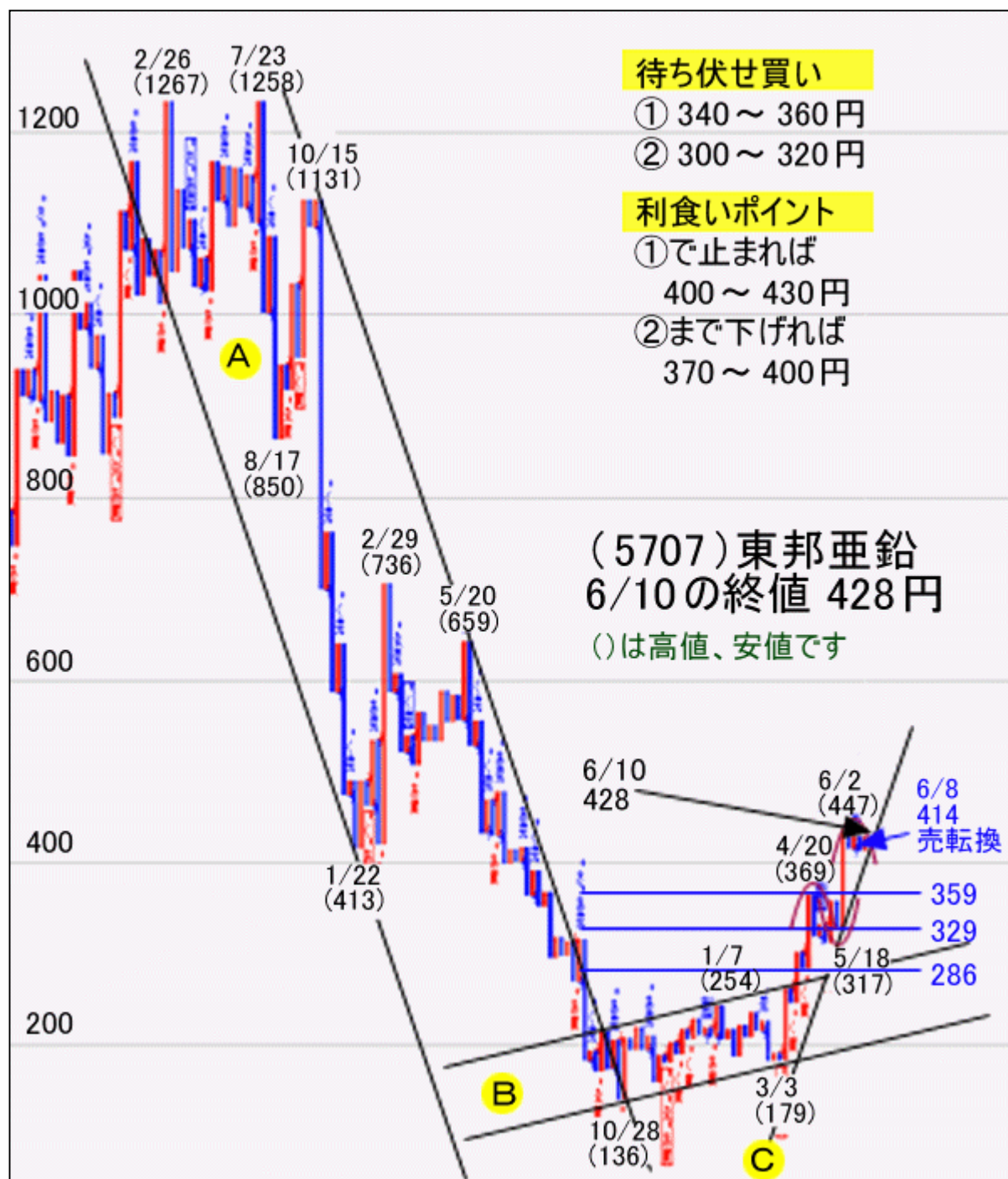


(5707) 東邦亜鉛



原油先物価格の急騰から商品市況が活発となり、非鉄金属は大幅上昇となりました。その原油先物価格も 1 バレル = 70 ドル台のせいで過熱感がでており一服してもおかしくないところです。

東邦亜鉛を柴田野線で見ると今年の 10/28 の 136 円という底打ちから下降トレンド(A)を横にぬけてゆるやかな上昇トレンド(B)を形成していましたが、この中で 3/3 の 179 円を安値にトレンド(B)を上をぬけてこの中で 6/2 に 447 円の高値をつけて 6/8 に 414 円で短期の売転換が出現しました。しかし、上昇トレンド(C)の中の売転換ですのでカラ売りというよりも大きな調整を待って買うというスタンスになります。日経平均と同じ動きとなっていますので、日経平均が調整入りとなれば連動する可能性は高いといえます。待ち伏せ買いのポイントとしては 3/3 の 179 円から 6/2 の 447 円までの上昇幅の 1/3 押しで 358 円水準、1/2 押し水準で 313 円水準となります。

本日は日経平均の 10000 円接近と原油価格の 1 バレル = 70 ドル台のせから非鉄金属も買われ、この銘柄も 24 円の 428 円となりました。基本的に待ち伏せ買いですが 450 円を終値で上にぬけると損切りできる人は 430 円前後 ~ 447 円前後はカラ売りとなります。日経平均が今日か明日ピークをつけると同じ動きとなって調整入りの可能性が高いからです。